

平成 16 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 あかつきビーピー株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 三甲野隆優  
( JASDAQ コード番号 7918 )  
問い合わせ先  
役職・氏名 常務取締役 正部一行  
電 話 番 号 03-3268-3155

### 新設分割による株式会社暁印刷の株式取得および会社分割 による持株会社移行並びに商号変更に関するお知らせ

当社は、平成 16 年 12 月 20 日開催の取締役会において、平成 17 年 4 月 1 日を期して当社の営業をそれぞれ新たに設立する「株式会社暁印刷」、完全子会社である「株式会社扇屋コーポレーション」および「株式会社ぼちぼち」に承継させる会社分割について決議いたしましたのでお知らせいたします。

本件分割後、当社は商号を「株式会社ヴィア・ホールディングス」に変更し、持株会社として引き続き上場会社となる予定です。

#### 記

##### 1. 会社分割の目的

当社は、印刷事業及びフランチャイジーとして展開を進めてきた焼鳥居酒屋「総本家備長扇屋」と大阪風お好み焼「ぼちぼち」を展開しておりますが、平成 16 年 4 月 1 日に焼鳥居酒屋「総本家備長扇屋」の本部である株式会社扇屋コーポレーション株式 100%を譲り受け完全子会社と致しました。

さらに平成 16 年 12 月 1 日に多数ブランドの飲食店経営を行っている株式会社エンゼルフードシステムズの株式 100%を譲り受けたことにより当社グループといたしましては、外食事業を更に強化することが出来ました。

標記のように、当社流通メディア事業につきまして、新設する株式会社暁印刷に事業を分割し、備長扇屋事業については株式会社扇屋コーポレーションに事業を吸収分割し、またぼちぼち事業については株式会社ぼちぼちに事業を吸収分割する予定です。

これらの効果を高めるために、経営組織の明確化とシンプルさを目指し、印刷流通事業の独自性と外食事業は各コンセプト毎の独自性を生かし、責任と権限を明確にして、経営資源の集約と配分を強化し、商号を「株式会社ヴィア・ホールディングス」に変更し、持株会社としてその効率アップを図ることを目的とします。

## 2. 会社分割の要旨

### (1) 分割の日程 (予定)

分割計画書及び分割契約書承認取締役会	平成16年12月20日 (月)
分割計画書作成及び分割契約書の締結	平成16年12月20日 (月)
分割計画書及び分割契約書承認株主総会	平成17年 1月28日 (金)
分割期日及び株券引渡し日	平成17年 4月 1日 (金)
分割登記	平成17年 4月 1日 (金)

### (2) 分割方式

#### ①分割方式

当社を「分割会社」とした分社型の新設分割（株式会社暁印刷）および分社型の吸収分割（株式会社扇屋コーポレーション・株式会社ぼちぼち）です。

#### ②当社を分割した理由

持株会社に移行するため、本件分割方式を採用するものであります。

### (3) 株式の割当

新設会社（株式会社暁印刷）が本分割に際して発行する普通株式 2,000 株は全て当社に割当交付されます。

承継会社（株式会社扇屋コーポレーション）が本分割に際して発行する普通株式はありません。

承継会社（株式会社ぼちぼち）が本分割に際して発行する普通株式 1,800 株は全て当社に割当交付されます。

### (4) 承継会社が承継する権利義務

当社の営業に属する一切の資産・負債、権利義務および契約上の地位（全従業員との雇用契約を含む）を承継いたします。ただし、分割計画書に記載しておりますとおり、埼玉工場及び三郷倉庫を除きます。なお、当社は分割計画書及び分割契約書に基づいて承継する一切の債務については承継会社と連帯して弁済の責を負う予定であります。

### (5) 債務履行の見込み

分割会社、承継会社とも分割後の資産、負債及び純資産の額を算定したところ、債務の履行を確保するために十分な純資産が存在すると見込まれること、及び今後の事業展開を勘案し、当社及び各承継会社は各々が負担すべき債務の履行の確実性には問題ないものと判断されます。

### (6) 新設及び承継会社に就任する役員 (予定)

新設会社 「株式会社暁印刷」

取締役会長	三甲野隆優	(当社 代表取締役社長 現在)
代表取締役社長	中野 二郎	(当社 取締役 現在)
取締役	塚田 英二	(当社 取締役 現在)

取締役 中内 君光 (当社 執行役員 現在)  
 監査役 西田 浩平 (当社 監査役 現在)

承継会社 「株式会社扇屋コーポレーション」

代表取締役社長 大場 典彦 (同社 代表取締役社長 現在)  
 取締役 亀井 克也 (同社 執行役員 現在)  
 取締役 佐伯 浩一 (同社 執行役員 現在)  
 監査役 片桐 正昭 (同社 監査役 現在)

承継会社 「株式会社ぼちぼち」

取締役会長 三甲野 隆優 (当社 代表取締役社長 現在)  
 (同社 代表取締役社長 現在)  
 代表取締役社長 片山 幹彦 (当社 ぼちぼち事業部長 現在)  
 取締役 岡安 孝一 (当社 扇屋事業部長 現在)  
 監査役 正部 一行 (当社 常務取締役 現在)  
 (同社 取締役 現在)

3. 分割当事会社の概要

(1)商号	あかつきビービー株式会社 (株式会社ウイア・ホールディングスに商号変更予定) (分割会社)	株式会社暁印刷 (新設会社) (予定)	株式会社扇屋コーポレーション(承継会社) (予定)	株式会社ぼちぼち (承継会社) (予定)
(2)事業内容	印刷事業、外食事業	印刷事業	外食事業	外食事業
(3)設立年月日	昭和23年2月26日	平成17年4月1日	平成13年7月2日	平成15年9月22日
(4)本店所在地	東京都文京区関口 一丁目44番4号	東京都文京区関口 一丁目44番4号	東京都文京区関口 一丁目44番4号	東京都文京区関口 一丁目44番4号
(5)代表者	代表取締役会長 横川 紀夫 代表取締役社長 三甲野 隆優	取締役会長 三甲野 隆優 代表取締役社長 中野 二郎	代表取締役社長 大場 典彦	取締役会長 三甲野 隆優 代表取締役社長 片山 幹彦
(6)資本金	4,005 百万円	100 百万円	200 百万円	100 百万円
(7)発行済株式総数	20,025,000 株	2,000 株	4,000 株	2,000 株
(8)株主資本	4,001 百万円	100 百万円	208 百万円	100 百万円
(9)総資産	11,666 百万円	2,410 百万円	5,146 百万円	622 百万円
(10)決算期	3月31日	3月31日	3月31日	3月31日
(11)従業員数	129名	90名	140名	20名
(12)主要取引先		角川書店、日本文芸社		
(13)大株主及び持ち株比率 (平成16年10月30日現在)	横川紀夫 37.5% 横川 端 17.5% ㈱エム・ティ・ケイ 13.3%	あかつきビービー㈱ 100%	あかつきビービー㈱ 100%	あかつきビービー㈱ 100%
(14)主要取引銀行	㈱りそな銀行、住友信託銀行㈱、㈱東京三菱銀行、㈱みずほ銀行	未定	㈱りそな銀行、㈱みずほ銀行	㈱りそな銀行

(15)当事会社の関係	資本関係	新設会社及び承継会社は分割会社の完全子会社となる予定です。
	人的関係	分割会社は新設会社及び承継会社に役員を派遣する予定です。
	取引関係	新設会社及び承継会社の総務業務の一部を分割会社に委託する予定です。

(注) 分割会社の概要は平成16年3月期末現在、新設会社及び承継会社の概要は平成17年4月1日設立時点の予定で記載しています。

#### 4. 最近3決算期の業績

(単位：百万円)

決算期	あかつきビーピー株式会社 (分割会社)		
	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期
売上高	4,225	5,354	7,184
営業利益	448	294	292
経常利益	△854	70	137
当期純利益 (△純損失)	△1,787	22	50
1株当たり当期純利益 (△純損失) (円)	△174.71	1.94	2.87
1株当たり配当金 (円)	—	—	—
1株当たり株主資本 (円)	92.77	118.67	199.81

(単位：百万円)

決算期	株式会社扇屋コーポレーション (承継会社)		
	平成14年6月期	平成15年6月期	平成16年3月期
売上高	3,603	2,938	2,669
営業利益	42	112	137
経常利益	50	107	102
当期純利益 (△純損失)	1	3	3
1株当たり当期純利益 (△純損失) (円)	4,606.78	7,953.10	842.63
1株当たり配当金 (円)	—	—	—
1株当たり株主資本 (円)	54,606.78	125,119.75	52,098.62

(注) 平成16年3月期は、決算期変更に伴い9ヶ月決算となっております。

(単位：百万円)

決算期	株式会社ぼちぼち (承継会社)		
	—	—	平成16年3月期
売上高	—	—	—
営業利益	—	—	△0
経常利益	—	—	△0
当期純利益 (△純損失)	—	—	△0

1株当たり当期純利益（△純損失）（円）	—	—	△695.60
1株当たり配当金（円）	—	—	—
1株当たり株主資本（円）	—	—	49,304.40

## 5. 分割する事業の概要

### (1) 経営成績

(単位：百万円)

		株式会社暁印刷 (新設会社)	株式会社扇屋コーポレーション (承継会社)	株式会社ぼちぼち (承継会社)
事業の内容		印刷物の製造、販売	焼鳥居酒屋「総本家備長扇屋」 のフランチャイズ及び直営店の経営	お好み焼「ぼちぼち」 の直営店の経営
売上高	分割する事業部門（A）	4,404	2,447	122
	平成16年3月期業績（B）	7,184		
	比率（A/B）	61.3%	34.1%	1.7%
売上総利益	分割する事業部門（A）	643	1,518	91
	平成16年3月期業績（B）	2,387		
	比率（A/B）	27.0%	63.6%	3.8%
営業利益	分割する事業部門（A）	300	206	△21
	平成16年3月期業績（B）	292		
	比率（A/B）	102.6%	70.4%	—
経常利益	分割する事業部門（A）	106	153	△26
	平成16年3月期業績（B）	137		
	比率（A/B）	77.9%	111.5%	—
当期利益	分割する事業部門（A）	108	146	△26
	平成16年3月期業績（B）	50		
	比率（A/B）	212.4%	287.2%	—

### (2) 譲渡資産、負債の項目および金額

譲渡資産、負債の 項目および金額 (平成17年4月 1日予定)	営業債権	1,203	—	—
	棚卸資産	632	16	6
	流動資産	1,836	16	6
	有形固定資産	566	1,439	452
	無形固定資産	3	—	69
	投資等	3	417	94
	固定資産	574	1,857	615
	資産合計	2,410	1,873	622
	営業債務	1,019	56	49
	その他	1,206	992	303
	流動負債	2,226	1,048	353
	長期未払金	84	825	179
	固定負債	84	825	179
負債合計	2,310	1,873	532	

## 6. 分割後の当社の状況（予定）

（注）平成17年1月28日開催予定の臨時株主総会にて承認可決することを停止条件として記載しております。

- |          |                  |
|----------|------------------|
| （1）商号    | 株式会社ヴィア・ホールディングス |
| （2）事業内容  | 持株会社             |
| （3）本店所在地 | 東京都文京区関口一丁目44番4号 |
| （4）代表者   | 代表取締役会長兼社長 横川 紀夫 |
| （5）資本金   | 2,000百万円（予定）     |
| （6）総資産   | 9,837百万円（予定）     |
| （7）決算期   | 3月31日            |
| （8）株式交換  |                  |

別途お知らせする「株式交換による株式会社日本システム完全子会社化に関するお知らせ」に記載の通り、平成17年4月1日を期日として株式会社日本システムとの株式交換を予定しております。

### （9）業績に与える影響

別途お知らせの「資本準備金の欠損てん補と資本減少に関するお知らせ」により、繰越欠損金を解消するとともに、配当可能利益を確保し早期復配を可能とする体制の整備も進められ、また上記記載の「1. 会社分割の目的」及び、別途お知らせの「株式交換による株式会社日本システム完全子会社化に関するお知らせ」と合わせて、当グループの総合的企業再編を目指して抜本的構造改革を継続的に進めます。

当社のセグメント別売上状況は、

平成16年3月期は、流通メディア事業4,404百万円、外食事業2,780百万円（備長扇屋2,447百万円、ぼちぼち122百万円、その他211百万円）で合計売上高7,184百万円となっております。

今期（平成17年3月期）の売上見通しについては、当社単体では流通メディア事業4,500百万円、外食事業3,200百万円（備長扇屋2,500百万円、ぼちぼち700百万円）で合計売上高7,700百万円を見込んでおり、連結売上高は、期初より連結対象会社となった（株）扇屋コーポレーション（外食事業）が4,500百万円、平成16年12月1日から連結対象会社となった（株）エンゼルフードシステムズの売上高2,000百万円を加え、連結合計売上高13,600百万円（流通メディア事業4,500百万円、外食事業9,100百万円）を予想しております。

来期（平成18年3月期）の売上見通しについては、流通メディア事業（（株）暁印刷）は4,700百万円を見込んでおり、また、外食事業については、それぞれの新規出店計画の売上増加に加えて、（株）エンゼルフードシステムズが12ヶ月寄与することにより、外食事業は15,100百万円（当社より分割分の備長扇屋2,500百万円、（株）扇屋コーポレーション備長扇屋5,300百万円（合わせて（株）扇屋コーポレーション7,800百万円）、（株）ぼちぼち1,200百万円、（株）エンゼルフードシステムズ6,100百万円）を見込んでおります。さらに、株式交換によって子会社となる予定の（株）日本システムの売上高5,000百万円を加えて、連結合計売上高25,000百万円を見込んでおります。

平成 19 年 3 月期の売上見通しについては、さらなる外食事業の多店化の推進により外食事業 20,000 百万円、流通メディア事業 5,000 百万円、(株) 日本システム 6,500 百万円、連結合計売上高 33,000 百万円を見込んでおります。

なお、連結合計売上高については持株会社売上と連結調整を加味して表示しております。

- ① 外食事業は売上高、収益共に当グループの主力事業と位置づけられます。コンセプト毎に事業の独自性、独立性を生かした業務執行を推進します。

イ. 焼鳥居酒屋「総本家備長扇屋」を展開する(株) 扇屋コーポレーションは平成 16 年 12 月 20 日現在で吸収分割を受けた店を加え、直営店 118 店、FC 店 111 店(計 229 店)を展開しておりますが、平成 17 年 4 月 1 日の分割期日には新規出店も加わり直営店 132 店、FC 店 116 店、計 248 店が予定されており、平成 18 年 3 月期以降は不採算店の見直しも考慮しながら、全国的に戦略的出店を進め年間直営店 50 店、FC 店 15 店程度の出店を予定しております。

「食の安全」に傾注しながら、増収、増益と当グループの中心的事業を目指します。

ロ. 大阪風お好み焼「ぼちぼち」は個性的な店作りと食を提供しておりますが、全ての事業を株式会社ぼちぼちに吸収分割致します。平成 16 年 12 月 20 日現在で関東周辺に 19 店舗を展開しており、平成 17 年 4 月 1 日の分割期日には 25 店舗程度の多店化を予定しており、関東周辺をベースにチェーン展開を進めながら規模のメリットを目指します。

ハ. 平成 16 年 12 月 1 日付にて 100%子会社と致しました(株) エンゼルフードシステムズ(平成 17 年 2 月中に株式会社フードリームに商号変更予定)は複数ブランド(中華・イタリアン・南欧風他)の飲食店を大手スーパー、百貨店、ショッピングセンターにインショップしており、直営店 82 店、FC 店 7 店を展開しております。

今後、利益を重視した戦略を進め安定的・固定的な収益企業を目指します。

- ② 新設分割事業である流通メディア事業を有する(株) 暁印刷は書籍・雑誌及び商業印刷物を中心とした印刷事業と物販飲食関係への消耗品の販売事業を中心とした流通サービス事業は、ここ数年のリストラが奏効し、厳しい受注状況の中で効率的収益構造が構築されてきました。

- ③ 株式交換にてグループ化する(株) 日本システムの平成 16 年 6 月期の売上については、業務用アミューズメント機器を中心とした卸売により、1,794 百万円を計上しております。

決算月を変更した今期(平成 17 年 3 月期 稼動月数 9 ヶ月)は、各メーカーと販売業務委託契約等、基本取引契約書の締結も整い、販売事業部は営業部員の増強等、業容を拡大し、ゲームセンターを中心に販売を強化しており、新規に機器のレンタル事業を立上げました。これは不採算機器の排除、人気機器の導入を容易にした仕組みを提供し、効率良い機器運営を進めるものです。

また、大手業務用アミューズメント機器メーカーが、運営するアミューズメント施設の運営業務委託も視野に入れながら、売上拡大を図っており、2,900 百万円の売上高を予想しております。

- ④ グループ全体の相乗効果については、(株) 日本システムをグループ化することに

よって、将来的に飲食施設へのアミューズメント機器・ソフトの導入、飲食オペレーションのネットワーク技術・ソフト導入等、「食」と「遊」の融合や電子書籍の配信及びコンテンツのアミューズメントソフトへの提供等を考えております。

また、外食事業の拡大化の継続による収益を中心に、流通メディア事業および、アミューズメント事業を補完的に考え、持株会社組成による経営監理のシンプル化をベースにした経営を推進致します。

- ⑤ 持株会社の役割としては、グループ経営・執行の監理、企業結合及び分割による相乗効果の創出、資本及び M&A 戦略、IR 活動等を主な業務としますが、収入計画としては、各子会社に対する不動産賃貸、情報システム使用料、貸付利息、商標権使用料及び経営管理指導料等の収入を計画しており、加えて各子会社からの配当収入を含め、持株会社単体としての収益構造を構築いたします。

会社分割後 2 連結会計年度における連結業績見通し

	第 7 0 期 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)	第 7 1 期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)
連結売上高	25,000百万円 ( - 百万円)	33,000百万円 ( - 百万円)
連結営業利益	1,590百万円 ( - 百万円)	2,640百万円 ( - 百万円)
連結経常利益	1,250百万円 ( - 百万円)	2,250百万円 ( - 百万円)
連結当期純利益	580百万円 ( - 百万円)	1,280百万円 ( - 百万円)

(注) ( )内は会社分割による影響額を示す。

会社分割後 2 連結会計年度における個別業績見通し

	第 7 0 期 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)	第 7 1 期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)
連結売上高	700百万円 ( - 百万円)	1,100百万円 ( - 百万円)
連結営業利益	190百万円 ( - 百万円)	580百万円 ( - 百万円)
連結経常利益	150百万円 ( - 百万円)	540百万円 ( - 百万円)
連結当期純利益	150百万円 ( - 百万円)	540百万円 ( - 百万円)

(注) ( )内は会社分割による影響額を示す。

(10) 新設会社の 2 事業年度における個別業績見通し (㈱暁印刷)

	第 1 期 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)	第 2 期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)
売上高	4,700百万円 ( - 百万円)	5,000百万円 ( - 百万円)
営業利益	210百万円 ( - 百万円)	240百万円 ( - 百万円)
経常利益	160百万円 ( - 百万円)	190百万円 ( - 百万円)
当期純利益	100百万円 ( - 百万円)	120百万円 ( - 百万円)
1株当たり配当金	— 円	— 円

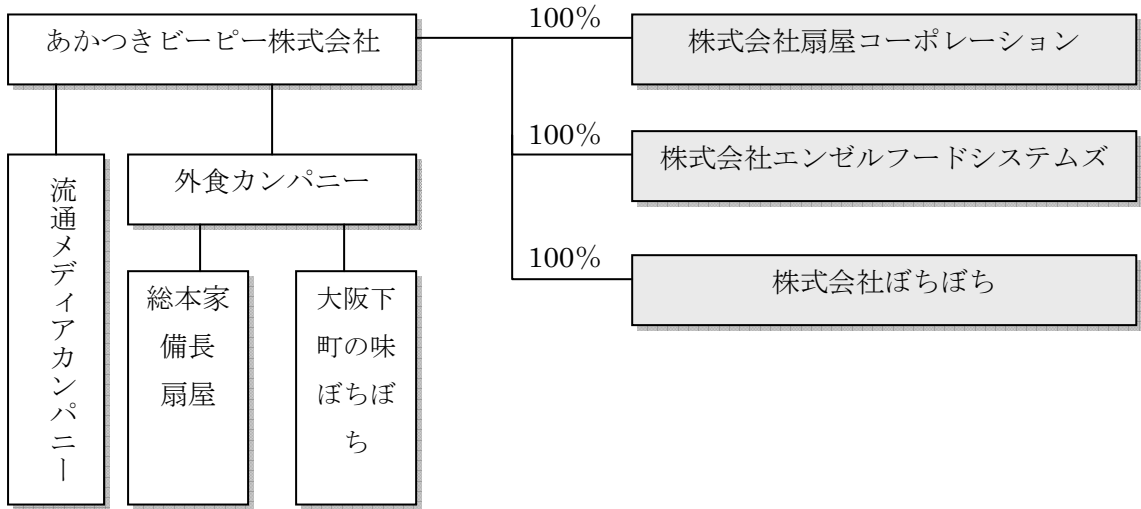
(注) 1. ( )内は会社分割による影響額を示す。

2. 1株当たり配当金については未定です。

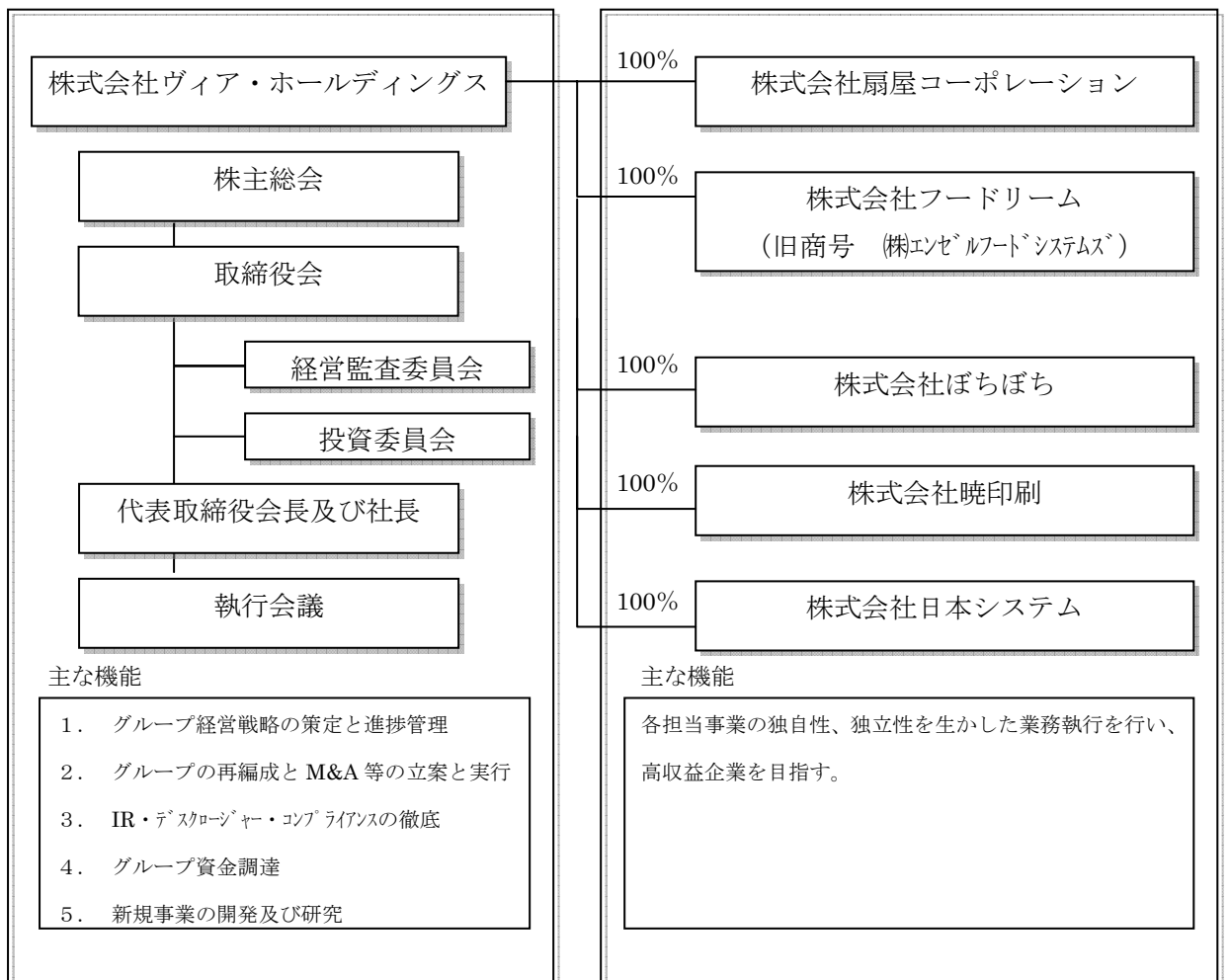


(11) 組織体制

現在の組織



今後の体制（予定）



(12) 取締役及び監査役（予定）

地 位	氏 名	現在の地位
代表取締役会長兼社長	横 川 紀 夫	代表取締役会長
代表取締役副社長	三 甲 野 隆 優	代表取締役社長
専 務 取 締 役	村 上 栄 司	新任(現㈱日本システム代表取締役会長)
取 締 役	正 部 一 行	常 務 取 締 役
監 査 役	河 村 博 旨	監 査 役
監 査 役	岩 村 誠 之	監 査 役
監 査 役	達 本 明	新 任

(注1) 平成17年4月1日付にて塚田英二及び中野二郎は当社の取締役を辞任し、新設分割を行う株式会社暁印刷の取締役に就任する予定です。

平成17年4月1日付にて西田浩平は当社の監査役を辞任し、新設分割を行う株式会社暁印刷の監査役に就任する予定です。

(注2) 監査役 岩村誠之及び達本明は「株式会社の監査役等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

(13) コーポレート・ガバナンスの構築

当社グループは持株会社移行に伴い、1. 経営と執行の分離、すなわち取締役会と執行会議の組織的分離及び持株会社（経営主体）と各子会社（執行主体）の機能的分離を図り、2. 持株会社の監督機能の強化、すなわち経営監査委員会等の専門的審議機関による取締役会ならびに執行会議への監督体制を図り、このふたつをコーポレート・ガバナンスの方向性として位置付けることとしました。

持株会社体制の下での当グループの役割は各々の責任を全うするため、下図の通りと考えます。

	ヴィア・ホールディングス	各子会社
任務	グループの活性化と全体の最適化	担当事業の徹底的な深耕
責任	連結収益の拡大化	担当事業収益の拡大化
権限	組織統制と経営資源配分に関する権限	事業の運営に関する大半の権限

以 上